

令和元年度 第5回伊那地域協議会会議録

開催日	令和元年11月26日(火)											
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時55分						
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール											
委員の出欠  出席27名 欠席12名		委員氏名				委員氏名				委員氏名		
	1	御子柴 春樹	出	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	出			
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	出			
	3	竹前 進	出	18	平嶋 真	出	33	ワイズナー 奈那	出			
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	出	34	平澤 彩	出			
	5	原 壯内	出	20	伊藤 哲寛	欠	35	河上 由香	欠			
	6	福沢 雄司	出	21	網野 隆志	出	36	小林 建正	出			
	7	武田 修平	欠	22	板倉 倫顕	欠	37	平賀 裕子	出			
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	出	38	小林 正	出			
	9	池上 喜恵	欠	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	出			
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	欠						
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	出						
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	欠						
	13	林 典男	出	28	中村 一重	欠						
	14	小澤 辰夫	出	29	平澤 大典	欠						
15	三澤 惇夫	出	30	清水 功	欠							
署名委員	ワイズナー奈那			平澤 彩								
条例第10条の規定により出席した者	なし											
市側の出席者												
出席した事務局職員	地域創造課 課長 唐澤 直樹			地域創造課 地域振興係長 飯島 勝			地域振興係 早川 佳代					
議 事	(1) 小グループによる検討について (2) その他											

## 1 開会

(副会長)

ただいまより、令和元年度第5回の伊那地域協議会を開会します。

(欠席委員の報告)

## 2 あいさつ (会長より)

お寒いなか、お忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。平成から令和になりまして本年も残すところ1ヶ月となりました。長野方面では台風19号による大変な被害があり、伊那でも西部方面で風による果樹の落下や、権兵衛トンネルの橋桁の崩落による通行止めで、経済的な影響も出てきています。

第5回の地域協議会では、いよいよ本年のまとめをやって頂くこととなります。今回の協議会の最後には、各班のまとめを報告していただくので、今日の協議でも効果のしっかり出る議論にしたい。

## 2 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に33番 ワイズナー奈那委員、34番 平澤 彩委員を指名する。

## 3 会議事項

### (1) 次期伊那地域協議会委員の構成について

(事務局)

次期の委員構成と選出予定について説明。

〈質疑・応答〉

(委員)

中学校PTAが推薦団体に入っていないが、入っていないのはなぜか。

(事務局)

中学校PTAが推薦団体に入っていない理由はない。子育てをしてる若い世代の人にも地域協議会の委員に入ってもらえるよう、地区内にある4つの小学校のPTAから推薦をしてもらうようになっている。

(会長)

次期の地域協議会も、現在と同じ委員構成とすることでよろしいか。

(委員)

異議なし

### (2) 小グループによる検討について

(事務局)

小グループでの検討と今後の予定について説明。今回が検討の最終となる。検討し

た結果のまとめを後日事務局まで提出をお願いしたい。

<これまでのグループによる検討についての発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

- ・中心市街地の空き地、空き店舗の増加、伊那市駅前周辺が非常に衰退をしているという課題がある。活性化するにはどうしたら良いのかを検討してきた。
- ・伊那地域協議会の会議だけでなくグループ独自でも検討会を行うほか、関係者へのヒアリングや現状調査を行うなど、合計で16回協議を行ってきた。
- ・現状把握をする中で、中心市街地の再生や活性化に関して伊那市の基本となる方針や具体的なプランが不明確である。商店街のイベント等は賑わう一方、空き店舗や空き地の増加に歯止めがかかっていないという課題が明らかになった。
- ・商店街、関係団体、行政の情報交換が出来ていないため、活性化をするための協議をする場がないという課題がある。
- ・中心市街地の活性化は、単なる物販ということを考えて行うのではなく、人が交流する新たなコミュニティの場となるようにする必要がある。そのためにも中心市街地活性化協議会を設置して協議を進める必要がある。
- ・中心市街地活性化法という法律が制定されており、長野県内では長野市・上田市・塩尻市・飯田市等が中心市街地活性化基本計画を制定し、様々な方策を立てている。伊那市でも計画をつくり、その計画に基づいて伊那市駅周辺の整備をする必要がある。

(グループ2) 「地域の安心・安全について」

- ・地域の安心安全について、平成30年(昨年)は「地域の安心安全というのは、住民の不安を取り除くことにある」と捉え、災害に対し、市民がどのような不安を持っているのかについて洗い出しを行った。
- ・その不安をなくすためには、どのような方策があるかを10項目ほどに整理し、項目ごとに地区の役割、行政の支援が必要な部分などについて洗い出した結果を市に提言した。提言に対し、行政としては危機管理という点である程度はやっているとの回答をもらった。
- ・H31年は「不安を取り除く」という点を踏まえて、「理想な姿は何か」について検討してきた。その中で一番大きかったことは「危機意識を向上させること」で、支援を待つのではなく、「自分たちのことは自分たちでやること」を考えることが、災害に対する一番大きな行動だということになった。
- ・伊那市は50年以上前にあった「三六災害」以降、大きな災害は発生していないため、「自分たちには大きな災害は起こらない」という思い込みがある。先日あった台風19号の際にも、三峰川・天竜川の合流点付近などに避難指示が出たにもかかわらず、「自分は大丈夫」だと避難しない人がたくさんいた。それが、伊那市民の災害に対する危機意識の低い証拠になっている。
- ・近所のことを知っているのは隣組の単位なので、防災に関する簡単なマニュアルを

隣組単位で作成する。作成する際は総意、合意・同意で作っていくことで、強い絆づくりにも繋がると考えられるので、マニュアル作成を提案していく。

(グループ3) 「公共施設のあり方について」

- ・「公共施設のあり方について」は、第6期伊那地域協議会から継続して協議している。6期では153号伊那バイパスが開通することに伴い、そこに道の駅を作ってはどうか、そこに防災施設を併設してはどうかという協議を進めいた。7期では、その協議を受けて引き続き検討をしてきた。結論としては「道の駅」というよりも、まず防災の拠点となる施設を作り、そこに多目的施設や道の駅を併設したらどうかという提案をすることとした。
- ・竜東地区には防災、消防、救急施設がない。上伊那広域消防本部や高遠消防署からは距離があるため水害等が発生した場合、救援支援が遅れることも考えられる。また、伊那市役所は平地にあるため行政機能の停滞や麻痺も考えられる。総合病院等の施設も天竜西側に集中しており、東側にも防災のための施設が必要と考える。市民の集える施設や室内運動施設も不足しているとの意見もある。それらのことから、まずは伊那市全体の防災機能を備えた防災の重点的施設、緊急時に行政機能を補完できる施設、多機能的な防災施設の建設に向けて、建設要望の提案をしたい。
- ・今年発生した台風19号の時に伊那東部中学へ沢山の人が避難したため、人が入りきらない状況となり、車の中で待機していた市民が大勢いた。そのような現状も加味して検討をするよう提案をする。
- ・また、この施設に多目的機能を加えることで、災害時以外は室内運動場や、高齢者や子どもが集える施設に使えること。道の駅を併設することにより、伊那市の観光拠点として、観光情報の発信や特産農産物の販売、歴史文化の伝承の施設として活かすことができる。

(グループ4) 「地域の繋がりについて」

- ・世代間の交流や世代間の繋がりについてを重点に、行政や地域の活動を活性化することがテーマ。
- ・現状は、子どもから高齢者までが参加できる行事が少ない。繋がりがある活動ができていないという現状がある。
- ・沢山の住民が参加しているような、とても良い活動をしているところもある。それらの事例を市報などの広報によって紹介してもらうことで情報を発信していきたい。
- ・今回の台風では共助の問題があったため、防災マップを作成する必要があると分かった。各地区でやっている良い事例を参考にしながら作成し、繋がりのある活動に結びつけていきたい。

(会 長)

各グループで、それぞれのテーマに沿って検討を重ねてきて、とても素晴らしいまとめになっている。12月5日までに各グループでまとめたものを提出できるようにしてもらいたい。

#### 4. その他

(委員)

次回の協議会が2月7日となっているが、今後の予定について出ていたら教えてほしい。

(事務局)

提言書をまとめ方と予定について説明。

(委員)

来年度の委員推薦について、各団体にどのように依頼をするか。

(事務局)

任期は2年、各地区・団体に依頼をする。

(委員)

2月7日の協議会で提言に対する回答をもらえるとのことだったが、その後、検証をする機会はないのか。

(事務局)

次期(8期)の委員への報告になってはしまうが、半年～1年後に提言した内容と、実際の取り組みについての報告をする予定。

#### 5. 閉会

(副会長)

以上をもちまして、第5回の伊那地域協議会を閉会とします。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

令和元年11月26日

令和元年度 第5回伊那地域協議会 会議録

会 長

.....

会議録署名人

.....

会議録署名人

.....